

当院を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	バンコマイシンの個別化適正投与方法構築に関する研究
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(担当科)薬剤部 (職名)薬剤部長 (氏名)大西正文
試料・情報の利用目的 及び利用方法	〔利用目的〕抗 MRSA 薬であるバンコマイシン(VCM)は有効性と安全性を確保するために体内の VCM 血中濃度を適切に管理することが重要ですが、その管理に苦渋することがあります。患者さん一人ひとりに合わせた最適な投与方法を提供するためには、VCM 血中濃度を定めるクリアランス(薬物を体内から消失させる能力)を予測していくことが必要です。そこで、クリアランスに影響を及ぼす因子を電子カルテ上のデータを用いて調査します。 〔対象となる患者さん〕2021年1月から2025年12月に当院でバンコマイシンを投与された患者さん 〔研究期間〕研究実施承認日 ~ 2026年10月31日 〔利用方法〕電子カルテを用いてデータ収集を行います。 〔他の機関へ提供される場合はその方法〕なし
利用又は提供する試料・情報の項目	情報：電子カルテのデータ(血液検査データ、身体測定データなど)
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	非該当
提供する試料・情報の取得の方法	非該当
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名	非該当
利用する者の範囲	非該当
試料・情報の利用又	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年5月

は提供を希望しない 場合	31 日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 薬剤部 担当者：(職名) 薬剤師 (氏名) 斉藤 佑治 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311 (内線：34220)